

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

中川村

No.	事業項目	事業名
1	「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業	県産材利用促進事業
事業費		1,043,350 円 (うち支援金: 670,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

中川村に広がる山林は地域の共有林として管理され個人に分割された森林が多いが、近年森林所有者の山離れが進み、整備が行き届かず放置された森林が目立つようになっている。木材価格の低迷や、次世代の担い手不足等も課題となっている。放置森林が増えることによって地域への鳥獣被害が深刻な問題となっており、長期的な視野を持った、早急な対応が求められる。

(2) 本事業の目的

地域木材の利用促進を図るため村内の公共施設に薪ストーブ及び県産材を利用した設備の充実を促進する。特に今事業実施の陣馬形山頂の山小屋は県内外から観光客が多く利用する村の施設である。今回薪ストーブを導入することで、村で取り組んでいる木質バイオマスエネルギーの活用にも貢献でき、利用者にも木材に触れてもらうことで、森林や自然環境への関心を持って貰う機会が増えるようにしたい。

事業内容

(1) 実施場所 中川村 陣馬形山頂

(2) 対象者 中川村

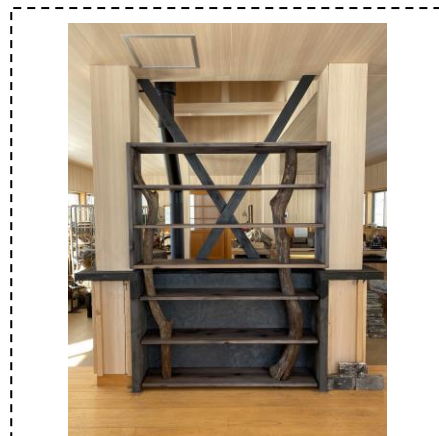
(3) 実施方法

- ・薪ストーブの導入及び県産材を使用した木製本棚の設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3 年度)

- ・薪ストーブの導入
- ・県産材を使用した木製本棚の設置



事業効果

(1) 事業実施による効果

本事業の実施により県内外から利用する観光客から薪ストーブ、木工製品を身近に感じてもらう事で、木材のぬくもりや利便性を感じてもらい、木材への関心を高めてもらうと共に環境問題、延いては森林整備の必要性などがPRできる。

(2) 継続性

村内の公共設備の更新や周辺森林の整備など、関係機関と連携しながら継続的に事業を進めていく。

(3) 普及性

観光客が利用する施設で本事業を行うことで、来場者に広くPRすることができる。特に陣馬形山頂の山小屋は村内のみならず県内外から多くの観光客が訪れるので、施設を利用してもらうことで大きな普及効果が見込まれる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

村随一の景観を誇る陣馬形山頂の山小屋に薪ストーブを導入したことで、林内の未利用材の有効活用など、村で力を入れている木質バイオマスエネルギーの活用にも貢献できた。導入した本棚も自然の幹をそのまま利用するなど、より自然に近い形で活用するになっており、利用者にも木材や自然環境についてより身近に感じてもらえるような環境整備ができた。

(2) 課題

薪ストーブは火を取り扱うため、火災が発生しないようにすると共にやけど等の事故が発生しないように留意する。本棚は木製製品である為、定期的なメンテナンスを行う。時間が経過するにしたがって双方共に味のある色合いに変化していくのを楽しみながら、長く大切に使用してもらいたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も村内公共施設の要望も取り入れながら整備を進めていきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)